



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4972 URL <https://www.soken-ce.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 純一郎
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 和田 裕子 (TEL) 03-3983-3268
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,371	19.0	791	1.4	1,084	21.8	836	21.6
2022年3月期第1四半期	8,718	28.3	780	25.7	890	39.8	687	35.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,679百万円(26.2%) 2022年3月期第1四半期 1,330百万円(362.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	101.34	—
2022年3月期第1四半期	83.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	46,186	29,399	63.7
2022年3月期	45,582	28,348	62.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 29,399百万円 2022年3月期 28,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	12.7	1,300	△2.8	1,300	△12.2	1,000	△15.2	121.27
通期	43,000	11.3	3,500	57.0	3,500	27.5	2,500	22.5	303.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	8,300,000株	2022年3月期	8,300,000株
2023年3月期1Q	48,847株	2022年3月期	48,847株
2023年3月期1Q	8,251,153株	2022年3月期1Q	8,235,986株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、ウクライナ情勢の悪化や中国での新型コロナウイルス感染症対策による主要都市封鎖などの影響を受けて、世界的な資源価格の高騰やサプライチェーンの停滞が深刻化し、物価上昇への警戒感の高まりから景気後退が懸念されるなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、原材料価格上昇に応じた適切な価格転嫁やコスト削減施策による収益性の改善に注力するとともに、液晶ディスプレイ分野をはじめとする既存事業領域での安定的な収益基盤の維持・拡大を図っております。また、持続的成長と企業価値向上を果たすために、自動車、情報・電子など成長分野での新たな事業機会の創出による成長基盤の構築、医療ヘルスケア・環境・エネルギー分野での研究機関やスタートアップ企業との連携による社会課題解決を志向した新規事業開発体制の確立に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、液晶ディスプレイ関連等の販売が中国市場を中心に伸びたことや価格改定の効果、人民元高に伴う中国子会社売上高の為替換算額の増加などにより、売上高は103億71百万円（前年同期比19.0%増）となりました。利益面では、増収効果はあったものの、原材料価格が高騰するなかで価格転嫁のタイムラグが継続し、営業利益は7億91百万円（前年同期比1.4%増）に留まり、経常利益は為替差益の計上などにより10億84百万円（前年同期比21.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億36百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高96億50百万円（前年同期比23.7%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、中国市場での液晶ディスプレイ関連用途向けの販売数量が伸びたことや価格改定の効果などにより、売上高は63億49百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

微粉体製品は、光拡散用途での中国主要顧客の在庫調整が前年度第4四半期から継続し、その影響を受けて販売数量が減少したことなどにより、売上高は7億52百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場での電子材料用途向けの販売数量が前年同期並みの水準に留まったものの、人民元高に伴う為替換算額の増加により、売上高は8億71百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

加工製品は、中国市場での機能性粘着テープの販売が自動車内装部材・電子情報機器用途向けで増加したことなどにより、売上高は16億77百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

<装置システム>

装置システムについては、電子部品調達難の影響を受けて、設備関連の工事完成高が減少したことなどにより、売上高は7億21百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて6億3百万円増加し、461億86百万円となりました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ1億41百万円減少し、277億32百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ7億45百万円増加し、184億53百万円となりました。

一方、負債については賞与引当金が減少したことなどにより、前期末に比べ4億48百万円減少し、167億86百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末に比べ10億51百万円増加し、293億99百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末62.2%から1.5ポイント増加し63.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,203,486	6,536,998
受取手形、売掛金及び契約資産	8,026,469	8,644,601
電子記録債権	2,410,428	2,606,296
有価証券	4,000,000	3,500,000
商品及び製品	4,271,337	4,332,349
仕掛品	47,115	107,875
原材料及び貯蔵品	1,338,082	1,556,993
その他	588,588	459,360
貸倒引当金	△11,625	△12,391
流動資産合計	27,873,883	27,732,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,231,963	16,578,945
減価償却累計額	△9,137,730	△9,430,640
建物及び構築物（純額）	7,094,232	7,148,305
機械装置及び運搬具	20,269,712	20,775,691
減価償却累計額	△16,222,652	△16,739,013
機械装置及び運搬具（純額）	4,047,060	4,036,678
土地	1,347,465	1,365,431
使用権資産	735,187	783,656
減価償却累計額	△186,967	△206,465
使用権資産（純額）	548,219	577,191
建設仮勘定	2,266,078	2,942,147
その他	3,302,832	3,391,323
減価償却累計額	△2,470,111	△2,533,149
その他（純額）	832,720	858,174
有形固定資産合計	16,135,776	16,927,929
無形固定資産		
その他	328,701	280,138
無形固定資産合計	328,701	280,138
投資その他の資産		
投資有価証券	63,469	63,045
繰延税金資産	1,008,751	995,730
その他	290,106	311,858
貸倒引当金	△118,110	△124,770
投資その他の資産合計	1,244,217	1,245,864
固定資産合計	17,708,695	18,453,931
資産合計	45,582,578	46,186,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,146,311	7,871,352
電子記録債務	740,510	802,882
短期借入金	1,092,618	1,240,846
1年内返済予定の長期借入金	90,250	192,400
未払法人税等	328,080	184,405
賞与引当金	654,290	220,264
役員賞与引当金	63,000	17,500
完成工事補償引当金	8,500	4,700
工事損失引当金	0	174
その他	1,785,843	1,862,613
流動負債合計	12,909,404	12,397,139
固定負債		
長期借入金	2,440,126	2,518,059
退職給付に係る負債	1,802,523	1,790,122
資産除去債務	46,647	46,671
その他	35,606	34,126
固定負債合計	4,324,902	4,388,980
負債合計	17,234,307	16,786,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,662	3,402,662
利益剰余金	19,697,641	19,905,557
自己株式	△58,455	△58,455
株主資本合計	26,403,411	26,611,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,586	3,161
為替換算調整勘定	1,909,685	2,749,831
退職給付に係る調整累計額	31,588	35,573
その他の包括利益累計額合計	1,944,859	2,788,567
純資産合計	28,348,270	29,399,895
負債純資産合計	45,582,578	46,186,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,718,843	10,371,357
売上原価	6,112,008	7,518,751
売上総利益	2,606,835	2,852,606
販売費及び一般管理費	1,826,534	2,061,076
営業利益	780,300	791,530
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,163	10,032
為替差益	74,459	279,642
補助金収入	27,952	1,312
雑収入	18,741	19,312
営業外収益合計	130,318	310,298
営業外費用		
支払利息	11,464	7,858
雑損失	8,834	9,200
営業外費用合計	20,298	17,058
経常利益	890,320	1,084,770
特別利益		
固定資産売却益	15	—
投資有価証券売却益	2,404	—
特別利益合計	2,419	—
特別損失		
固定資産除売却損	3,497	33,839
投資有価証券売却損	3,147	—
特別損失合計	6,644	33,839
税金等調整前四半期純利益	886,095	1,050,930
法人税等	198,480	214,792
四半期純利益	687,615	836,137
親会社株主に帰属する四半期純利益	687,615	836,137

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	687,615	836,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,179	△424
為替換算調整勘定	654,289	840,146
退職給付に係る調整額	4,229	3,985
その他の包括利益合計	643,339	843,707
四半期包括利益	1,330,955	1,679,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330,955	1,679,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,799,226	919,617	8,718,843	—	8,718,843
セグメント間の 内部売上高又は振替高	89	18,362	18,452	△18,452	—
計	7,799,316	937,979	8,737,295	△18,452	8,718,843
セグメント利益	709,678	71,943	781,622	△1,321	780,300

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,321千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,650,273	721,084	10,371,357	—	10,371,357
セグメント間の 内部売上高又は振替高	56	—	56	△56	—
計	9,650,330	721,084	10,371,414	△56	10,371,357
セグメント利益	771,339	16,531	787,871	3,658	791,530

(注) 1. セグメント利益の調整額3,658千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。